

---

**SUPER  
KAYAK**

---

調節可能で快適な  
背もたれ付き  
シート

頑丈な  
バックブレイス  
(船外機に対応)

特許取得した  
流線型のデザインで  
無理なく  
スピードアップ

二重構造の  
フロートで  
耐久性を向上

イギリスで  
設計・製造

モジュール式デザイン  
なので、部品の交換や  
アップグレードが簡単

フロントブレイス  
(調節可能なフットレスト)

6061陽極酸化  
アルミ製フレーム

ツインフロートで  
安定性と安全性を確保

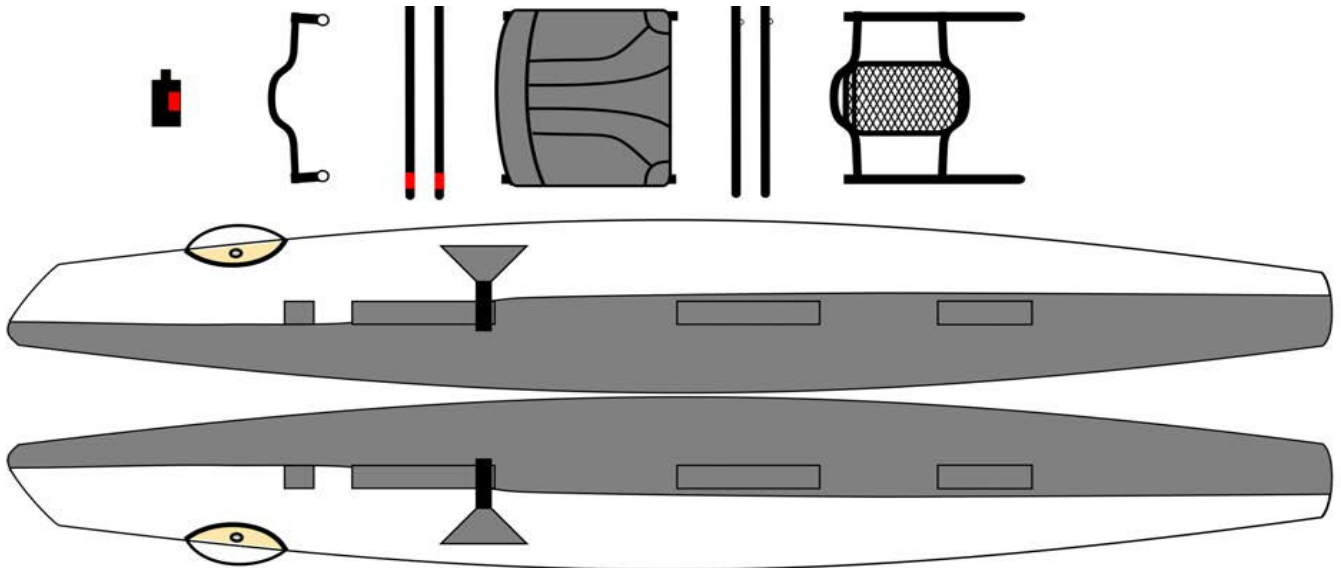
衝撃を吸収する  
バンパーゾーン



1

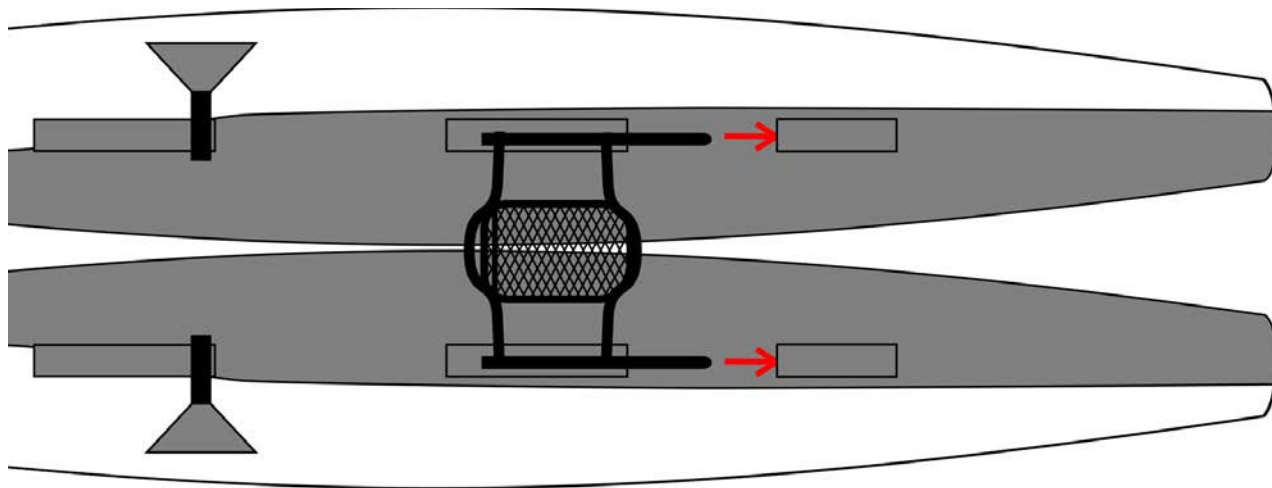
以下のコンポーネントを全て並べます。

エア    バック    バック    シート    フロント    フット  
ポンプ   プレイス   チューブ           チューブ    プレイス



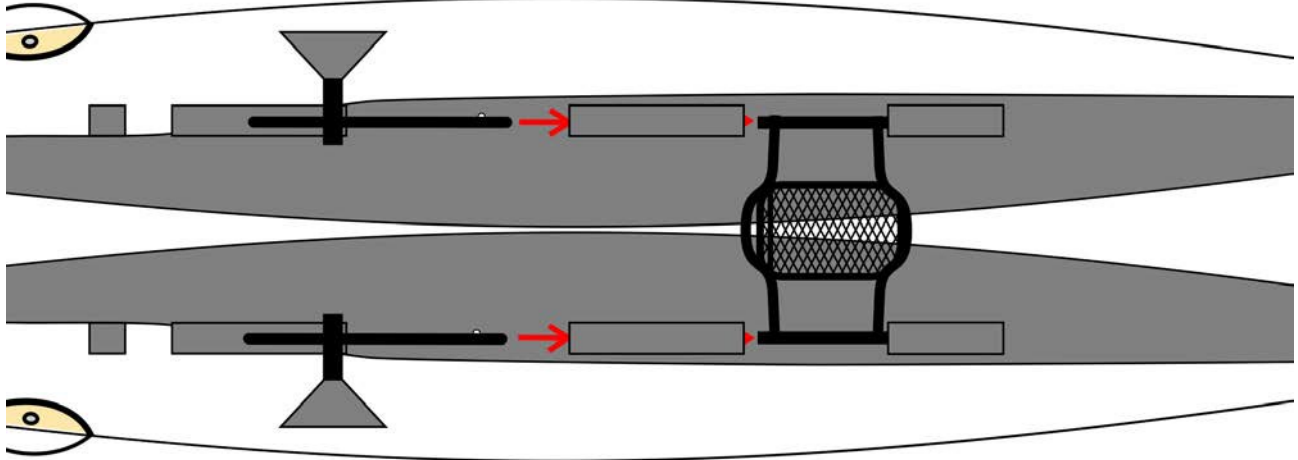
2

フットブレイスをフロントスリーブに  
差し込みます。



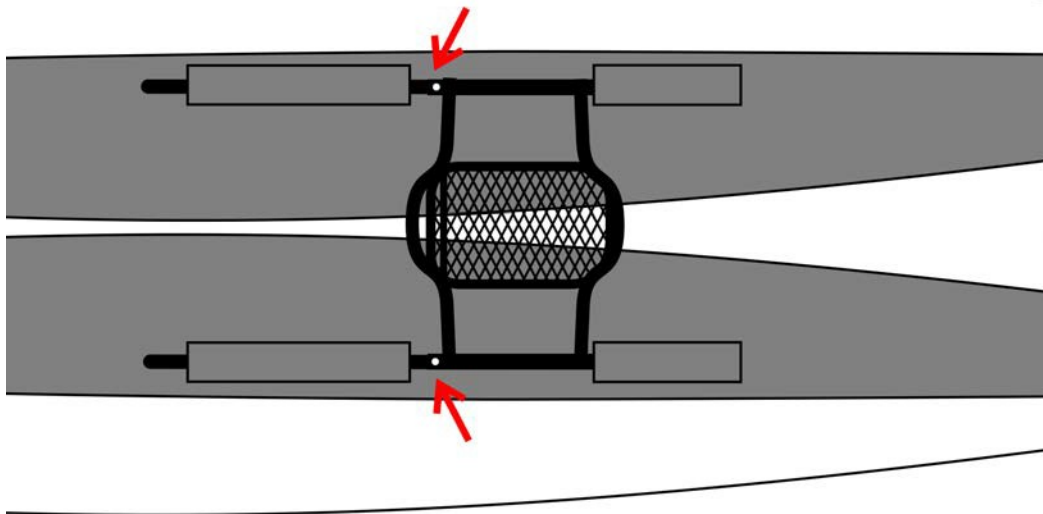
3

フロントチューブをスリーブに通し、  
フットブレイスに差し込みます。



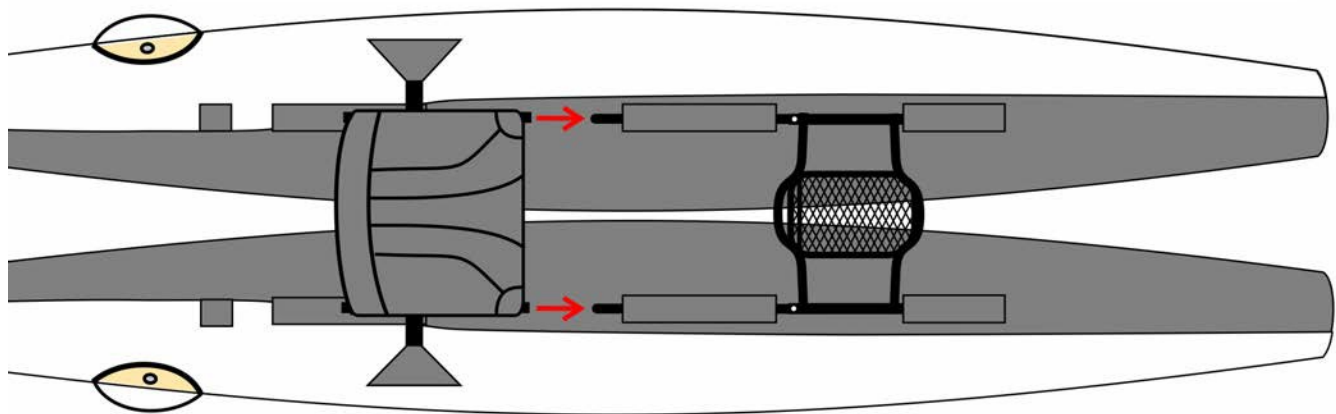
4

カチッ！



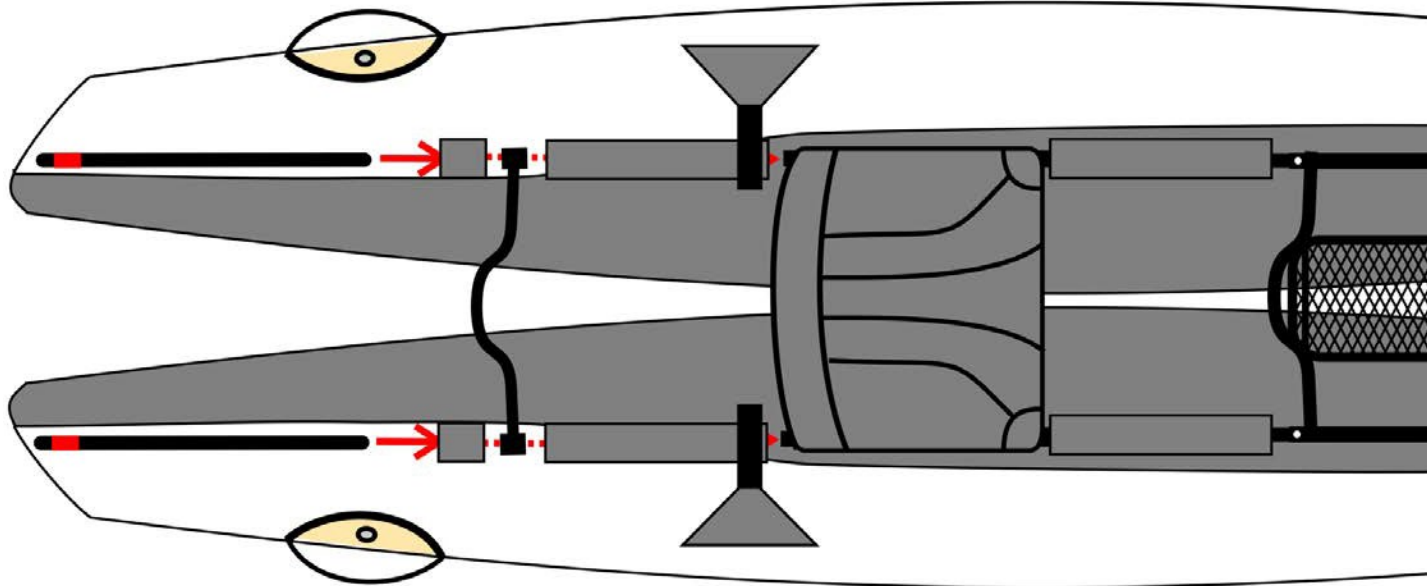
5

シートのベースをフロントチューブに  
スライドさせて、差し込みます。



バックチューブを短いスリーブ、バックブレイスに通し、さらに先のスリーブに通して、シートのフレームに差し込みます。

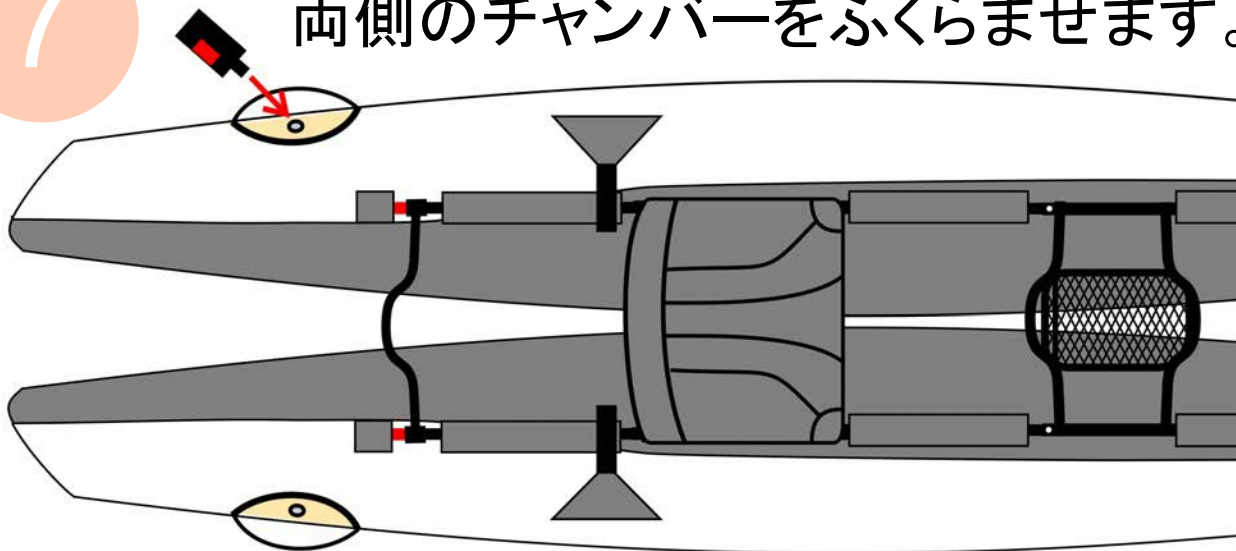
6





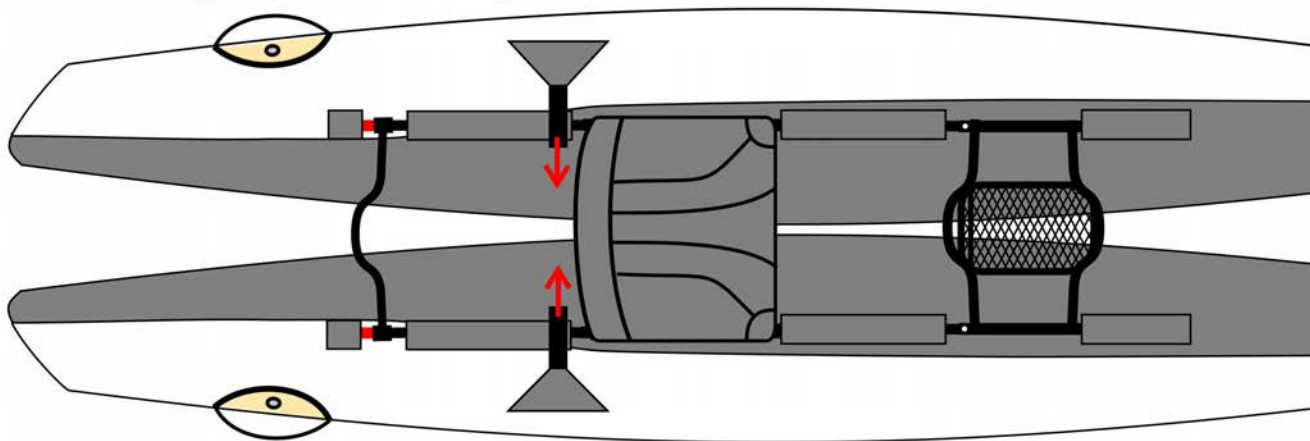
7

両側のチャンバーをふくらませます。



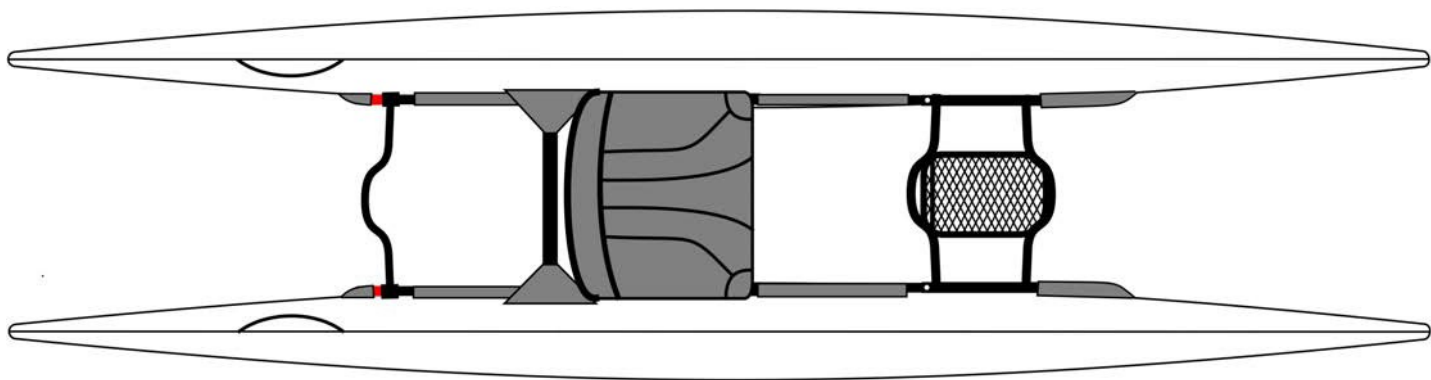
8

マジックテープを装着します。



9

口で空気を吹き込んで、よくふくらませたら、完成。

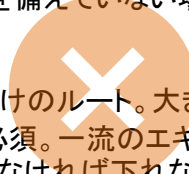


救命胴衣を忘れずに着用してください。

# 急流の難易度

スキーヤーは上級者コースが初心者コースよりはるかに急で難しいことを知っています。スキーのコースと同じように急流の難易度もさまざまです。そのため、以下のように国際的なグレードが定められています。

- クラスA – 湖水のように静かで、動きが見られない。
  - クラス1 – 難易度は低く、穏やか。さざ波、素直なライン、砂州、ゆるやかなカーブが見られる。橋などの障害物の周りを漕ぐ場合は、問題が生じることがある。
  - クラス2 – 流れがやや速く、規則的な波がある。岩棚の間を通っても、見通しは良く、素直なライン。多少のテクニックは必要。カヌーをあやつり、流れを読むことのできる中級者に最適。
  - クラス3 – やや難易度が高く、高く不規則な波が多い。岩やエディ(渦)があり、ラインは素直だが狭く、経験が求められる。初めてのルートはスカウティング(下見)が必要。フローティングバックなしのオープンカヌーでは難しい。高度なスキルを備えたカヌーイストに最適な急流。
- 
- クラス4 – 難易度が高い。長く、流れが強く、波が高い。キーパーホールやボイル、エディがある。力強く、高度なテクニックが必要。スカウティングは必須。フローティングバックなどの万全の装備を備えていない場合はカヌーで下ることはできない。救助活動に備えた事前準備が重要。
  - クラス5 – 非常に難易度が高い。長く激しい急流がほとんど切れ目なく続く、障害物だらけのルート。大きな落ち込み、強烈な流れ、急勾配も見られる。スカウティングすら難しい。救助の準備は必須。一流のエキスパートでも、特別装備のホワイトウォーターカヌー、万全の装備を備えた船やカヤックでなければ下れない。
  - クラス6 – 極度に難易度が高い。あまりにも危険なので、パドラーはたえず死の脅威に直面する。水位や諸条件が好ましい場合のみ、下ることができる。オリンピック選手に匹敵する能力を持つパドラーしか対応できない激流。あらゆる安全対策が不可欠。



---

# 安全警告

---

全国パドルスポーツ協会の標準的な安全警告 — パドルスポーツは非常に危険で肉体的にハードな場合があります。本製品をご利用いただくにあたっては、パドルスポーツが重傷や死亡につながるリスクをはらんでいることを理解しなければなりません。— 本製品をご利用いただく際は、以下の安全基準を必ず守ってください。

- この船種に特化したパドルスポーツの指導を受けること。
- 国内で承認された救命胴衣を常に着用し、陸地の近くにとどまること。
- 所定の応急処置訓練を受け、救急箱や安全装置を常備すること。
- 絶対に一人で漕がないこと。必要に応じて、ヘルメットを着用すること。

- 気候条件に応じて、適切な服装をすること。水温や気温が低いと、低体温症を引き起こす恐れがあります。温かく乾いた衣類の着替えを持参してください。
- 使用する前に、劣化や故障がないかどうか、装備を点検すること。
- 氾濫した河川で漕がないこと。岩や急な流れ、強い波を避けること。
- 川の水位や潮目の変化、危険な流れや天候の変化に注意すること。
- 不慣れなルートではスカウティング(下見)し、必要に応じてポータージ(陸路輸送)を行うこと。
- 自分の身体能力を過信しないこと。パドリング旅行の前には医師の診察を受けること。
- 本製品を使用する前に、アルコールや向精神薬を摂取しないこと。水上で寝ないこと。
- 本製品を使用するにあたっては、製造元の提言や指示に従うこと。
- 本製品に装備を追加する場合は、製造元が承認した素材のみを使用すること
- 本製品の使用にあたって、パドルスポーツの危険性を理解し、想定しておくこと。

ご不明な点があれば、

[www.tentsile-japan.com/superkayak](http://www.tentsile-japan.com/superkayak) からお問い合わせください。